

日本測量者連盟会員の皆様

日頃より、日本測量者連盟の活動に、ご理解、ご支援いただきましてありがとうございます。
FIG よりメッセージが届きましたので会員の皆様に展開いたします。

日本測量者連盟

FIG ニュースレター2023年6月/7月—FIG作業週間2023の報告と論文募集

原文（英文）をご覧になる場合は、[ブラウザでニュースレターにアクセス](#)してください
国際測量連盟 FIG

皆様、

「Howdy（こんにちは）」—フロリダ州オーランドで開催された FIG 作業週間 2023 の開会式で、ロバート・エイキンス全米職業測量士協会会長から歓迎の挨拶がありました。待ち望んでいたことがたくさんありました。多くの活動、多くのセッション、多くの学び、多くの新旧の知り合い、アメリカ文化の学び。積極的で活気に満ちた多くの参加者、スポンサー、出展者、パートナー、ヘルパー、そして友好的でおもてなし溢れる地元の主催者たち。総会では、FIG 会長が今後4年間の活動計画とビジョンを発表しました。FIG とその周辺で起きている最新情報を作業週間のレポートと総会の特別レポートでご覧いただけます。

2023年作業週間は先日終了しましたが、もう既に、ガーナのアクラで開催される FIG 作業週間 2024 を心待ちにし、計画を立てる時期となっています。テーマと論文募集に関する詳細はこのニュースレターをご覧ください。

その他の活動も続いています。ダイアン・ドゥマシー FIG 会長は ESRI ユーザー・カンファレンスに出席しました。今後2つの委員会イベントが予定されています。また、皆様は FIG を介して Intergeo に参加することができます。

このニュースレターには情報が満載です。

FIG 作業週間 2023

FIG2023年総会 議事録

総会では、来期の新たな活動計画とビジョンが発表され、また新会員、新名誉会長、新名誉会員の紹介も行われました。

- [報告書を読む](#)
- [総会議事録の全文を読む](#)～すべての報告書、ビデオ、事業計画を含む～

「こんにちは」-FIG 作業週間レポート

フロリダ州オーランドで開催された今年の作業週間には、国内主催団体の NSPS（全米職業測量士協会）が遠方からの参加者を歓迎し、様々な活動に参加しました。参加者の皆様、そしてスポンサーや出展者の皆様に感謝いたします。

- [作業週間報告書を読む](#)
- 総会と作業週間の[写真集](#)(onedrive フォルダー)
- [会議集録](#)
- [FIG ヤング・サーベイヤーズ・南北アメリカ会議報告](#)

FIG ノルウェー・スタヴァンゲルでの作業週間 2027

FIG2023 年総会において、FIG 会員団体は、FIG 作業週間 2027 の開催地として、ノルウェーのスタヴァンゲルを選出しました。ネパールとノルウェーの 2 つの誘致国に感謝します。

- [続きを読む](#)

作業週間スポンサーの皆様にご挨拶いたします。

FIG 作業週間 2024 – 論文募集

アクラ・ガーナで開催される FIG 作業週間 2024 にご参加ください。FIG 作業週間 2024 は、Licensed Surveyors Association of Ghana (LiSAG) と Ghana Institution of Surveyors (GhIS) の 2 つの国内団体の協力のもと開催されます。美しい国ガーナを発見し、世界中から集まった仲間とアクラで一生涯に一度の経験をしましょう。

作業週間の全体テーマは、

あなたたちの世界、私たちの世界：

レジリエント（強靱）な環境と持続可能な資源管理をすべての人に

ぜひ論文要旨をご投稿いただき、持続可能な未来に向けたグローバルな対話にご参加ください。

2015 年にすべての国連加盟国によって採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」は、「人」、「地球」、「パートナーシップ」、「平和」、「繁栄」という 5 つの重要な次元を核とする、共通のブループリントを提供しています。持続可能な開発目標の達成まであと 10 年を切った今、世界の指導者たちは、持続可能な開発のための 10 年間の行動と実現を呼びかけ、誰一人取り残すことなく、2030 年の目標期日までに目標を達成することを誓いました。FIG 作業週間 2024 は、FIG のビジョンである「社会に奉仕し、

人々と地球に恩恵をもたらす」に基づき、地球と天然資源の健全な営みに特に関連する世界的な課題への取り組みに焦点を当てています。

天然資源の利用は、国際的に受け入れられている持続可能性の3つの側面、すなわち社会正義、環境の健全性、経済発展のすべてに関係しています。最貧国は、汚染され劣化した環境の増大と、資源の所有、利用、採掘に関する世界政治の結果に、直接的に被害に遭っています。

アジェンダ 2023 を先導して、私たちは持続可能な消費と生産、天然資源の持続可能な管理、気候変動への早急な対応などを通じて、現在と将来の世代のニーズを支えることができるように、地球を劣化から守ることを決意しました。持続可能な開発と気候変動対策は表裏一体であり、SDGs の達成には両者が不可欠です。

さらに、教育、能力開発、そして何よりも若者の参画は、ダイバーシティ & インクルージョン（多様性と受容性）の重要なかぎとなるでしょう。地理空間技術と政策がつながり続けることが重要な役割を果たします。つまり、適切な規制と継続的な技術革新により、レジリエントな環境と持続可能な天然資源管理を確保するための主要なツールとなりつつあります。

私たちは、よりグリーンでレジリエントな世界の発展に貢献するトピックにおいて、議論と行動のための洞察を提供する論文投稿と参加を募集します。また、以下の全体的なトピックにおける研究者や実務家の質の高い貢献を奨励します：

- 土地と鉱物資源
- 水、海洋
- 土地管理と統治（都市化／農村地理空間を含む）
- 技術と倫理

論文要旨を提出し、アクラ大会への出席準備を今すぐ始めましょう。

- 査読付き論文要旨と論文全文の締切 2023 年 10 月 1 日
- 通常論文の要旨締切 2023 年 11 月 1 日（注：論文全文は 2024 年 1 月 8 日）
- [論文募集の全文を読む](#)
- [論文募集要項 pdf](#)

作業週間の準備をフォローする：www.fig.net/fig2024/

FIG からのニュース

[ダイアン・ドゥマシー会長が 2023 年の ESRI 全米地理空間エグゼクティブ・フォーラムとユーザー会議に出席](#)

全米地理空間エグゼクティブ・フォーラムのパネリストとして、ドゥマシー会長はエグゼクティブ・フォーラム・デイで得たものを要約して報告しました。

[続きを読む](#)

女性の土地の権利とリオ条約に関する戦略ワークショップ

ワークショップは、国連機関、政府、非営利団体の参加により相乗効果と共通の理解を構築することを目的としています。クラリッサ・アウグスティヌスが FIG 大使として出席しました。

[続きを読む](#)

第2回国際土地管理会議

LINK (Land-International Network of Knowledge)主催、西イングランド大学(UWE)、ブリストル、英国、2023年6月11-12日。

[続きを読む](#)

ルーマニア測量週間

Kwame Tenadu Snr 副会長が、2023年5月10日～13日にルーマニアのオラデアで開催されるルーマニア測地学週間と欧州測地学測量士協議会 (CLGE) 総会に出席しました。

[続きを読む](#)

今月の記事

2023年7月号

2023年7月の今月の記事は FIG 作業週間におけるクラリッサ・アウグスティヌスによる 地球規模の土地の見通しとこの世界の保護 の録画です。このイントロダクションとこの「今月のビデオ・シリーズ」で提供される録画では、地球の直面する主要な気候課題のいくつかと測量者が気候危機に取り組む上で果たす重要な役割についてクラリッサ・アウグスティヌスが概説します。

[イントロダクションを読み、ビデオを見る](#)

2023年6月号

2023年6月の今月の記事は、FIG2022年大会の基調講演「2020年のパンデミック後の世界で土地専門職の能力がどのように繁栄するか—世代を超えた洞察：地理、統治、ボランティア」の記録です。さまざまな世代のパネリストとして、ビクトリア・スタンリー、マーク・ヴァンダーシューレン、イスラエル・タイウォ、シャーリー・チャプンザ、トマシュ・マリノフスキが職場の4世代すべてがネクストノーマルをどのように形作るかについての考え方を共有します。

[ビデオを見る](#)

スペシャルイベント

責任ある土地管理のためのデジタルトランスフォーメーション

FIG 第2分科会と第7分科会は、オランダ地籍・土地登記・地図庁(Kadaster) とトゥエンテ大学 ITC が主催して 2023 年 10 月 2 日から 4 日にかけて Deventer (Overijssel) の Locatie Punt で開催される合同年次総会への参加を募集しています。

[イベントについてもっと読む](#)

SDGs の緩和戦略：空間情報の活用

FIG 第3分科会ワークショップおよび年次総会。2023 年 12 月 4~6 日、テルアビブ、イスラエル。Ramon GeoInt360 国際会議と併催。9 月 15 日まで特別 [VIP 早割チケット](#) あり（登録時に FIG3 ボックスにチェック）。採択された論文要旨の著者は登録料が免除されます。

[論文募集](#)

Intergeo 2023 - 測量と地理空間産業界からの最新情報

2023 年 10 月 10 日~12 日にドイツ・ベルリンで開催される大規模見本市「Intergeo」の無料入場券を FIG で確保できます。

[イベントについてもっと読む](#)

ニュースレターとレポート

ニュースレター：

- FIG 第7分科会 [ニュースレター2023年6月](#) (注：アクセスに問題があるかもしれません)
- FIG 第8分科会 [ニュースレター2023年6月](#)

レポート：

- GLTN — [第9回 GLTN パートナーズ会議の報告](#) 2023 年 5 月開催

今後のイベント

[イベントページ](#)をチェック

2023 年 8 月 20 日~23 日、香港

グローバル・スマートシティ・サミットおよび第3回都市情報学国際会議 (GSCSA & ICUI 2023)。香港理工大学および国際都市情報学会 (ISUI) 主催。

ウェブサイト：<https://isocui.org/icui2023/index.html>

2023 年 9 月 27～29 日、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ネウム
第 5 回地籍会議。ヘルツェグ・ボスニア測地学会主催

[詳細情報](#)

2023 年 10 月 2～4 日、オランダ・デヴェンター
FIG 第 2 分科会および第 7 分科会年次総会。

[詳細情報](#)

2023 年 11 月 8 日～10 日、韓国、京畿道
Smart GEO Expo 2023。韓国国土交通省が主催し、LX (Land and Geospatial Informatix Corporation)が事務局とオーガナイザーを務め、LH (Korea Land and Housing Corporation)が後援。

ウェブサイト：<https://smartgeoexpo.kr/fairDash.do?hl=ENG>

2023 年 11 月 8～10 日、韓国、Kintex 2 展示センター
第 4 回 FIG ヤング・サーベイヤーズ・ネットワーク・アジア太平洋地域会合
招待：<https://www.facebook.com/events/781184816844824/?ref=newsfeed>

2023 年 11 月 21～24 日、エチオピア、アディスアベバ
アフリカにおける土地政策に関する 2023 年会議—アフリカ大陸自由貿易圏の実施加速のためのアフリカにおける持続可能な土地統治の保護。アフリカ連合、ECA、アフリカ開発銀行グループ主催。

[コンセプトノート](#)

[論文募集](#)

2023 年 12 月 4～6 日、テルアビブ、イスラエル
FIG 第 3 分科会ワークショップおよび年次会合「SDGs のための緩和戦略：空間情報の活用」。第 2 回ラモン国際地理空間情報 360 (GeoInt360) 会議と同時開催。

ウェブサイト：<http://geoint360.com>

FIG 第 3 分科会より：9 月 15 日まで入手可能な VIP 早割チケットをぜひご利用ください。

(https://secure.eventmagix.com/2023_geoint360) (登録時に FIG3 のボックスにチェックを入れてください)。

[論文募集](#)

国際測量者連盟

ルイーズ・フリス=ハンセン局長

FIG 作業週間 2024

2024年5月19～24日、ガーナ、アクラ

ウェブサイト：www.fig.net/fig2024

FIG 作業週間 2025

2025年5月1～5日、オーストラリア、ブリスベン

ウェブサイト：www.fig.net/fig2025

FIG 大会 2026、南アフリカ、ケープタウン

FIG 作業週間 2027、ノルウェー、スタヴァンゲル

FIG 作業週間 2028、フランス、パリ - FIG 150 周年記念